

としょしつだより

平成29年10月17日
六小図書室

読書の秋です。本をたくさん読みましょう！

読書週間 10月27日(金)～11月9日(木)



みなさん、本をたくさん読みましょう。スポーツの秋、芸術の秋、食欲の秋、そして読書の秋です。持久走大会の練習でがんばったあとは、図書室でゆっくりと読書をしましょう。



図書委員会からのお知らせ



10月11日(水)から10月23日(月)の間、月・水・金曜日の20分休みは、持久走大会の練習のため図書室は開けません。

みなさん、校庭に出て練習をがんばりましょう。なお、昼休みは図書室を開けますので、本をたくさんかりに来てくださいね。

読みきかせを
します。ぜひ
きてください。

読書週間中の行事

図書委員による絵本の読みきかせ



図書委員が絵本や大型絵本の読みきかせをします。とても楽しい読みきかせです。どんなお話をしてくれるのかな？みなさん、お友だちをさそって、ぜひ見に来てください。お待ちしております。

読みきかせが終わったあとに、素敵なおみやげがもらえます。お楽しみに。

日にち：10月31日(火)・11月1日(水)

時間：昼休み

場所：3階 多目的室

読書週間中のイベントでは、
すてきなプレゼントがもらえ
ます！おたのしみに☆



読書週間中、10月27日(金)～11月9日(木)に本をかりた人には、素敵なしおりをさしあげます。数が限定ですので、先着順になります。どの種類のしおりがもらえるかは楽しみです。



10月のおすすめの本



★ハロウィンにちなんで、おばけ・まほうつかいの本

10月31日(火)はハロウィン。欧米ではお化けの仮装をした子どもたちが、近所の家からお菓子をもらって歩きます。かぼちゃのおばけやいろいろなおばけ、まほうつかいなど。みんなはどんなおばけが好きかな？いろいろなおばけやまほうつかいの本をあつめました。楽しんで読んでくださいね。



★食欲の秋におすすめ！おいしそうなお本

秋はいろいろな食べものおいしい季節。料理の本や料理がテーマの本を読んで、心も体も元気にしましょう。



★スポーツの秋です。スポーツの本を読んで体を動かそう！

いろいろなスポーツの本やスポーツで活やくしている人の伝記をあつめました。本を読んで、いろいろなスポーツに挑戦しましょう。



★10月14日(土)は鉄道の日。電車の本を読んでみましょう。

1872(明治5)年の開通以来、みんなの足として発達し続けた鉄道のことを紹介する本です。SLからリニアモーターカーまで、調べてみましょう。

★10月15日(日)～10月21日(土)は新聞週間。新聞を読みましょう。

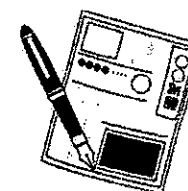
図書室に新聞があるのをみなさんは知っていますか？新聞はいろいろな情報をみなさんに提供してくれます。パソコンでなんでも調べられる現在ですが、活字を読んで、頭の体操をしましょう。勉強ができるようになりますよ。

〈図書室にある新聞〉

「上毛新聞」「週刊 風っ子」「朝日小学生新聞」

〈図書室にある、「新聞」についての本〉

- 『新聞を読もう！①～③』鈴木 雄雅/監修 教育画劇
- 『小学生から「新聞」を読む子は大きく伸びる！』池上 彰/監修 すばる舎
- 『新聞で学力を伸ばす』齋藤 孝 朝日新聞出版



★読書週間です。シリーズ本を読もう！最強コンビシリーズに挑戦！

お話の中に登場するとてもすてきな最強コンビ。図書室には、最強コンビのお話シリーズがあります。「ぐりとぐら」、「バムとケロ」、「ともだちや」、「チームふたり」など。みんなは、どれが一番、最強コンビに選ぶかな？

〈10月の作家〉今西 祐行 (1923年10月28日～2004年12月21日)

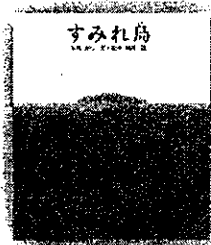
昭和後期～平成時代の児童文学作家。大阪生まれ。奈良県生駒市育ち。早稲田大学仏文科卒業。大学中に坪田譲治に師事。昭和20年学徒兵として原爆投下直後の広島で救援にあたり、みずからも被ばくしました。この体験から『あるハンノキの話』と『ヒロシマのうた』の作品が生まれました。弱い者にあたたかい目をそそぐ作品が多いです。著書に『ハコちゃん』『そらのひつじかい』『ゆみ子とつばめのおはか』『肥後の石工』(国際アンデルセン賞国内賞・日本児童文学者協会賞他)『浦上の旅人たち』(野間児童文芸賞他)『光と風と雲と樹と』(小学館文学賞)『すみれ島』などがあります。

〈図書室にあるおすすめの本〉

【低学年から】

○『すみれ島』偕成社 1991年発行

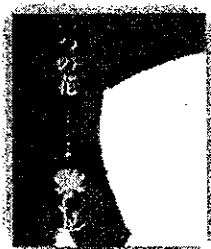
太平洋戦争が終わったのち、南の海の小さな島にひっそりすみれが咲きました。特攻に散った若者たちと小学生の交流を愛情をこめて描きます。現在、「特攻華の会」という会が、特攻花の種をふやし配りあって、南の海で亡くなった若者たちをしのび、平和を考えるという事をやっているそうです。実際に戦争で兵隊として体験した作者だからこそ描けたのでしょね。美しい絵と悲しい物語が心にひびきます。



【中学年から】

○『一つの花』ポプラ社 1975年発行

太平洋戦争中、食べるものもなく、人々はまずしい暮らしをしていました。毎日のように敵の飛行機からばくだんが落とされ、町はつぎつぎに焼かれ灰になっていきました。ある家族のお父さんが戦争にいかねばならなくなり、一人娘に一人のコスモスの花をわたします。戦争でお父さんはなくなりました。戦争は終わり、この小さな家の庭には、コスモスの花がたくさん咲きほこります。

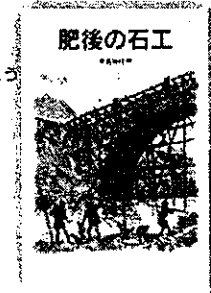


この作品は4年生の教科書にもなっています。戦争は二度とあってはならないと思う物語です。

【高学年から】

○『肥後の石工』(岩波少年文庫 78) 岩波書店 2001年発行

熊本県砥用町に今も健在する「霊台橋」。この橋は江戸時代、肥後(熊本県)の石工・岩永三五郎という人が、石工、大工、庄屋、百姓と協力して命がけで築いたものです。この橋には一つのひみつがあって、敵がせめてきた時に橋を落として城を守るしかけがしてあったそうです。このひみつを守るために、肥後の石工たちは全員「永送り」になりました。「永送り」とは、ひと目につかないように刺客をつか



わして国境で死ねる事です。その昔そのような悲しい出来事がありました。美しいめがね橋「霊台橋」は、石工たちの犠牲の上で建てられました。感動する歴史の物語です。ぜひ読んでみてください。

〈9月の図書の貸し出し数〉どれだけ本を読めたかな？

【1位】3年2組 718さつ 【2位】4年2組 568さつ 【3位】1年2組 475さつ

9月の図書の貸し出し数は、合計4,468さつでした。

おめでとう！これからも本をたくさん読んでくださいね。



○今月の「きちんと本をかえす日をまもれたクラス」は、残念ながらありませんでした。みなさんもきちんと本を期限内に返しましょう！

【新しくはいった本】

●書名／作・訳者名 (内容)	●出版社名
おしりたんてい いせきからのSOS トロル／作・絵	学研プラス
10歳までに読みたい名作ミステリー 全10巻 コナン・ドイル 他／作	学研出版
10歳までに読みたい日本の名作 ③④ 太宰 治 他	学研出版
電車で行こう！小田急ロマンスカーと迫る高速鉄道 豊田 巧／作・絵	学研プラス
ジャングルのサバイバル 洪 在徹、李 泰虎	朝日新聞社出版
激流のサバイバル スウィートファクトリー／文	朝日新聞社出版
かいけつゾロリのかいていたんけん 原 ゆたか	ポプラ社
実験対決 ②③④⑤ ストーリー a. / 文	メディアファクトリー
歴史漫画タイムワープシリーズ ① チーム・ガリレオ／ストーリー	朝日新聞社出版
さんねんないきもの事典 続さんねんないきもの事典 今泉 忠明 他	高橋書店
絶叫学級 いびつな恋愛編 いしかわ えみ／原作	集英社
最凶怪談 新井 リュウジ／他	集英社
〈第29回 読書感想画中央コンクール指定図書〉	
【小学校低学年】	
おにぼう くすのき しげのり／作	PHP研究所
あなのなかには レベッカ・コップ／作・絵 賀友 恵子／訳	フレーベル館
ペンギンかぞくとおそろしい山 藤原 幸一	アリス館
シロナガスクジラ ジェニー・デズモンド／作 福本 由紀子／訳	福音館書店
【小学校高学年】	
流れ星キャンプ 嘉成 晴香／作	あかね書房
いたずらっ子がやってきた カトリーナ・ナネスタッド／作 渋谷 弘子／訳	さ・え・ら書房
ぼくが消えないうちに A・F・ハロルド／文 こだま ともこ／訳	ポプラ社
本当はすごい森の話 田中 惣次	少年写真新聞社